



2026年4月7日
塩野義製薬株式会社

HIV インテグラーゼ阻害剤ドルテグラビルの開発が 令和8年度科学技術分野の「文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）」を受賞

塩野義製薬株式会社（本社：大阪市北区、以下「塩野義製薬」）は、令和8年度科学技術分野の「文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）」を受賞いたしました。今回の受賞は、エイズを引き起こすヒト免疫不全ウイルス（Human Immunodeficiency Virus、以下「HIV」）独自の酵素であるインテグラーゼを阻害することにより、HIVの増殖を抑える化合物「ドルテグラビル」の開発が高く評価されたものです。

文部科学省は、科学技術に関する研究開発や理解増進において、顕著な成果を収めた個人・団体を、科学技術分野の「文部科学大臣表彰」として讃えています。本表彰は、科学技術分野に携わる人材の意欲の向上を図り、日本の科学技術水準の向上に寄与することを目的としています。

従来の抗 HIV 薬によるエイズ治療は、死亡率を低減することが可能となったものの、複雑な服薬条件、副作用の発現、耐性ウイルスの出現など、依然として多くの課題を残していました。

ドルテグラビルは、1日1回・低用量の服薬であることに加え、薬物相互作用の懸念が少ないことから併用薬との合剤化が可能となり¹、従来の抗 HIV 薬を組み合わせた多剤併用療法よりもアドヒアランスが改善されました。さらに、ドルテグラビルは第三相臨床試験において、重篤な副作用や耐性ウイルスが確認されませんでした²。加えて、先行する同作用機序の抗 HIV 薬に対する耐性ウイルスにも高い薬効を発揮しました³。上記の優れた特性により、ドルテグラビルは従来のエイズ治療の課題を大幅に改善しています。

また、ドルテグラビルを主成分とする抗 HIV 薬の4製品は、グローバルで2,400万人以上の治療に貢献しており、HIV治療の中心的な役割を果たしています⁴。

塩野義製薬は、患者さまや社会の困りごと（ニーズ）に向き合い、ヘルスケアに関する課題を解決するためのイノベーションを継続的に創出していくことで、社会とともに持続的に成長し続けていくことを目指しています。今後も、60年以上におよぶ感染症領域における研究・開発で培ったノウハウを活用し、HIV感染症治療と予防の両面からグローバルヘルスへの貢献を果たしてまいります。

以上

【受賞概要について】

<受賞名称>

HIV インテグラーゼ阻害剤ドルテグラビルの開発

<受賞者（本表彰の受賞時点の所属）>

川筋 孝	塩野義製薬	創薬研究本部 本部長席 主席研究員
吉永 智一	塩野義製薬	創薬研究本部 創薬疾患研究所 主席研究員
埜田 善之	塩野義製薬	創薬研究本部 創薬化学研究所 主幹研究員
大司 照彦	塩野義製薬	製薬技術研究本部 CMC 開発マネジメント 部門長
藤原 民雄	元 塩野義製薬	医薬開発本部 グローバルプロジェクトリーダー

参考：

1. Min S, Song I, Borland J, Chen S, Lou Y, Fujiwara T, Piscitelli SC. Pharmacokinetics and Safety of S/GSK1349572, a Next-Generation HIV Integrase Inhibitor, in Healthy Volunteers. *Antimicrob Agents Chemother.* 2010;54(1):254–258. <https://doi.org/10.1128/AAC.00842-09>
2. Clotet B, Feinberg J, van Lunzen J, Khuong-Josses MA, Antinori A, Dumitru I, Pokrovskiy V, Fehr J, Ortiz R, Saag M, Harris J, Brennan C, Fujiwara T, Min S; ING114915 Study Team. Once-daily dolutegravir versus darunavir plus ritonavir in antiretroviral-naïve adults with HIV-1 infection (FLAMINGO): 48 week results from the randomised open-label phase 3b study. *Lancet.* 2014;383(9936):2222–31. [https://doi.org/10.1016/S0140-6736\(14\)60084-2](https://doi.org/10.1016/S0140-6736(14)60084-2)
3. Kobayashi M, Yoshinaga T, Seki T, Wakasa-Morimoto C, Brown KW, Ferris R, Foster S, Hazen R, Miki S, Suyama-Kagitani A, Kawauchi-Miki S, Taishi T, Kawasuji T, Johns BA, Underwood M, Garvey EP, Sato A, Fujiwara T. In vitro antiretroviral properties of S/GSK1349572, a next-generation HIV integrase inhibitor. *Antimicrob Agents Chemother.* 2011;55(2):813–821. <https://doi.org/10.1128/AAC.01209-10>
4. [The untold story of dolutegravir: When climate impact goes hand-in-hand with access to better treatments](#)

[お問合せ先]

塩野義製薬ウェブサイト お問い合わせフォーム：

<https://www.shionogi.com/jp/ja/quest.html#3>.